



メンバー表

関東大学対抗戦Aグループ 第2節

2026/09/26
15:00 Kick Off
城山陸

青山学院大学 (Host)			慶應義塾大学 (Visitor)		
合計得点	前半	後半		前半	後半
			T		
			G		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー
檜岡大輝 (関東協会)
タッチジャッジ
加納孝紘 (関東協会)
山村亮平 (関東協会)
酒井修 (関東協会)

青山学院大学					
#	Pos.	氏 名	資格学年	身長/体重	出身/所属
1	PR	木村 陽太	4	175/108	鎌倉RS → 國學院大學栃木高校
2	HO	松ザキ(山に奇)天晴	3	173/98	春日LRクラブ → 東福岡高校
3	PR	中川 竜玖	4	178/105	東海大学付属相模高校
4	LO	水沢 洋太	2	183/97	ワセダクラブ・RS → 國學院大學久我山高校
5	LO	市川 結雅	1	190/105	幡山中学 → 名古屋高校
6	FL	甲斐 冬竜	4	178/93	岡山RS → 京都成章高校
7	FL	平岡 勝凱	4	172/87	所沢RS → 昌平高校
8	No.8	角谷 銀次朗	3	180/97	洛南中学 → 京都成章高校
9	SH	利守 晴	3	170/70	草ヶ江YRクラブ → 東福岡高校
10	SO	松井 成悟	2	180/88	東淀川RS → 常翔学園高校
11	WTB	山本 啓太	3	176/82	東住吉中学 → 常翔学園高校
12	CTB	森岡 悠良	1	178/81	吹田RS → 京都成章高校
13	CTB	近藤 漣汰	2	181/90	宇摩RS → 石見智翠館高校
14	WTB	三田 元気	4	170/70	桐朋中学 → 桐朋高校
15	FB	白石 颯	4	169/72	高崎RC少年部 → 桐蔭学園高校
16	Re.	柳 颯真	3	175/102	芦屋RS → 報徳学園高校
17		土屋 裕資	2	176/100	國學院大學久我山高校
18		吉田 龍平	1	172/109	西東京RS → 國學院大學久我山高校
19		梁取 駿太	4	186/100	ワセダクラブ・RS → 茗溪学園高校
20		大塚 翔太	3	169/90	成蹊中学 → 成蹊高校
21		黒尾 洸太	2	173/75	世田谷RS → 成城学園高校
22		中川 圭陽	4	173/85	青山学院中等部・川崎RS → 青山学院高等部
23		久富 洋希	2	170/74	藤沢RS → 石見智翠館高校

慶應義塾大学					
#	Pos.	氏 名	資格学年	身長/体重	出身/所属
1	PR	井吹 勇吾	3	175/100	桐蔭学園中学 → 桐蔭学園高校
2	HO	藤森 貴大	4	173/102	慶應義塾普通部 → 慶應義塾高校
3	PR	中谷 太星	3	180/115	山口Jr.ラガーズ → 東福岡高校
4	LO	本田 李成	2	179/90	慶應義塾普通部 → 慶應義塾高校
5	LO	山ザキ(山に奇)太雅	2	189/105	浦和高校
6	FL	茅 万希司	2	179/77	慶應義塾普通部 → 慶應義塾高校
7	FL	申 驥世	2	175/93	世田谷RS → 桐蔭学園高校
8	No.8	恩田 優一郎	4	175/100	横浜RS → 慶應義塾高校
9	SH	尾関 航輔	2	166/68	慶應義塾普通部 → 慶應義塾高校
10	SO	小林 祐貴	2	168/75	柏RS → 慶應義塾高校
11	WTB	小野澤 謙真	3	180/90	静岡聖光学院中学 → 静岡聖光学院高校
12	CTB	松田 怜大	4	174/83	ワセダクラブ → 桐蔭学園高校
13	CTB	笠原 悠真	4	178/82	世田谷区RS → 慶應義塾高校
14	WTB	草薙 拓海	2	177/87	相模原RS → 桐蔭学園高校
15	FB	田村 優太郎	3	174/80	韮ヶ谷RS → 茗溪学園高校
16	Re.	米本 啓太郎	1	171/95	藤沢RS → 京都成章高校
17		山北 響己	2	177/98	富士見中学 → 慶應義塾志木高校
18		喜 瑛人	1	171/100	芦屋RS → 桐蔭学園高校
19		西野 誠一郎	2	184/92	江東RC → 桐蔭学園高校
20		中野 誠章	3	176/107	横浜RS → 桐蔭学園高校
21		竹内 楓稀	1	160/70	練馬RS・横浜RS → 桐蔭学園高校
22		浅野 優心	1	180/94	あびこRS・宇都宮RS → 慶應義塾志木高校
23		西本 友哉	1	184/85	グリーンクラブRS・神奈川DAGRS → 桐蔭学園高校

* 背番号の白抜きはキャプテン * 資格は F:外国籍、A:アジア、E:特別 * メンバーは変更になる場合があります。メンバーボードをご確認下さい。

『FOR ALL, FOR EARTH. 日本ラグビー協会は、いつも環境に配慮した活動をめざしています』